

Muribushi



特集

- 火災から2年 ～首里城復元に向けた取組状況～
- ワークेशनウィークオキナワ特集
令和3年度沖縄テレワーク推進事業

- 1 就任の挨拶 内閣府特命担当大臣就任のご挨拶
- 3 お知らせ ① 人事異動
- 4 特集 1 火災から2年～首里城復元に向けた取組状況～
- 6 特集 2 ワークेशनウィークオキナワ特集
- 8 連載企画 スポーツ産業の未来 vol.6
人間拡張とスポーツの可能性
- 10 仕事の窓 1 Web 会議システムを活用した オンライン方式のお仕事も承ります!!
- 11 仕事の窓 2 我が国の財政の現状や政府の取組をWEBで情報発信
- 12 仕事の窓 3 身近な国有財産 ～旧法定外公共物（旧里道・旧水路）～
- 13 仕事の窓 4 「美ら島沖縄」応援の取組
～財務局ネットワークを活用した「かりゆし財務局の日」～
- 14 仕事の窓 5 沖縄版・企業支援によるコロナへの挑戦(セミナー第3回)
～連携強化による事業再生支援～
- 15 仕事の窓 6 伊良部島でスプリンクラーによる散水を開始
～地下ダムによる農業用水の安定供給が実現～
- 16 仕事の窓 7 沖縄県産黒糖・料理専門家評価会
～沖縄の8島黒糖を使った料理とは～
- 17 仕事の窓 8 「第3回移動等円滑化評価会議沖縄分科会」を開催しました
- 18 内閣府だより 「OKINAWA41」フォトコンテストシーズン6 開催中!
「かりゆしウェア」テキスタイルデザインコンテスト 2021 開催中!
- 19 お知らせ ② 多重債務者相談強化キャンペーン 2021
- 20 お知らせ ③ 令和3年度 国有財産一般競争入札(期間入札)のお知らせ
- 21 お知らせ ④ 農業者年金 ～終身年金で安心!～

令和3年7月31日に国道58号名護東道路が全線開通しました。今回の開通にあわせ、道の駅「許田」前の信号機を廃止することで、沖縄自動車道・許田ICから名護東道路・伊差川ICまでノンストップで走行できるようになり、北部地域へのアクセス向上、名護市内の交通渋滞緩和、北部地域の活性化が期待されています。また、道の駅「許田」情報ターミナルも同日、リニューアルオープンしました。コロナが落ち着き、北部地域へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。詳しくは北部国道事務所HPにてご覧ください。



国道58号名護東道路が全線開通、道の駅「許田」もリニューアル!

表紙写真

就任の御挨拶

この度、岸田内閣において、沖縄担当大臣を拝命いたしました。

来年、沖縄の復帰から50年を迎えます。私は、沖縄選出の国会議員として、また沖縄県議として、長年、沖縄の発展に向けて取り組んでまいりましたが、このような節目のときに、担当大臣として沖縄振興に携わることになり、身の引き締まる思いです。改めて、担当大臣として、県民の思いを真摯に受け止め、沖縄の発展に全力で取り組んでまいります。

昭和47年の復帰以降、政府は5次にわたる振興計画に基づき、振興策を講じてまいりました。県民のたゆまぬ努力もあり、この間、沖縄は目覚ましい発展を遂げました。しかし、全国最下位の一人当たり県民所得や子供の貧困など、依然として解決すべき課題が残されています。

内閣府が本年8月に公表した「新たな沖縄振興策の検討の基本方向」においては、令和4年度以降の沖縄振興について、今一度法的措置を講じ、振興策を推進していくこととしています。引き続き、「基本方向」に沿った新たな振興策の実現に向けて検討を進めてまいります。

先日、大臣就任後初めて、戦没者墓苑を参拝し、戦禍に遭われた御霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、沖縄担当大臣として沖縄の発展のために力を尽くしていくこととお誓いしてまいりました。沖縄が抱える様々な課題の解決に向けた沖縄の取組を支援するとともに、沖縄が、優位性と潜在力を活かし、日本の経済成長の牽引役となるよう、また、県民の方々が暮らしの向上や豊かさを実感できるよう、地元の皆様の御意見を伺いながら、そして、可能な限り現地に足を運びながら、沖縄振興に取り組んでまいります。

にしめ こうさぶろう
内閣府特命担当大臣 西銘 恒三郎

座右の銘

初心忘れず
最善を尽くす

趣味

ウォーキング、城めぐり

復興大臣
福島原発事故再生総括担当

(沖縄及び北方対策)

令和3年10月
平成29年8月
平成29年12月
平成26年9月
平成26年12月
平成24年8月
平成20年9月
平成17年11月
衆議院議員初当選
衆議院議員二期目当選
国土交通大臣政務官
衆議院議員三期目当選
総務副大臣
衆議院議員四期目当選
経済産業副大臣
衆議院議員五期目当選
内閣府特命担当大臣
復興大臣

経歴(就任時のもの)

令和3年10月4日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府特命担当大臣に、西銘恒三郎氏が就任しました。



副大臣及び大臣政務官のプロフィール

内閣府副大臣に

黄川田

仁志

氏が就任



令和3年10月6日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府副大臣に、黄川田仁志氏が就任しました。

経歴（就任時のもの）

平成24年12月 衆議院議員初当選
平成26年12月 衆議院議員二期目当選
平成27年10月 外務大臣政務官
平成29年10月 衆議院議員三期目当選
令和3年10月 内閣府副大臣
(沖縄及び北方対策等)

趣味

剣道、空手、野球、落語、スキューバダイビング、三線

座右の銘

平常心是道
感謝協力

内閣府大臣政務官に

宗清

皇一

氏が就任



令和3年10月6日付けで、沖縄及び北方対策を担当する内閣府大臣政務官に、宗清皇一氏が就任しました。

経歴（就任時のもの）

平成26年12月 衆議院議員初当選
平成29年10月 衆議院議員二期目当選
令和2年9月 経済産業大臣政務官
内閣府大臣政務官
(国際博覧会担当)
令和3年10月 内閣府大臣政務官
(沖縄及び北方対策等)

趣味

ギター、スキー

座右の銘

疾風頸草

－西銘大臣の沖縄訪問－

西銘沖縄担当大臣は10月9日、大臣就任後初めて沖縄県を訪問しました。

国立沖縄戦没者墓苑へ参拝・献花をした後、玉城沖縄県知事や赤嶺沖縄県議会議長らと意見交換を行いました。



国立沖縄戦没者墓苑での参拝・献花



玉城沖縄県知事との意見交換



赤嶺沖縄県議会議長との意見交換

内閣府審議官



名前 大塚 幸寛（おおつか ゆきひろ）
出身地 神奈川県
略歴 昭和61年 総務庁入庁
 内閣府大臣官房長を経て現職
趣味 読書、音楽鑑賞
抱負 復帰50年を迎える節目に沖縄振興に携わることとなりました。
 これまでの経験を活かし微力を尽くしてまいります。よろしくお願いします。

政策統括官



名前 原 宏彰（はら ひろあき）
出身地 大阪府
略歴 昭和62年 総務庁入庁
 内閣府沖縄振興局長を経て現職
趣味 読書、ゴルフ
抱負 引き続き沖縄振興に携わることとなりました。
 沖縄振興策の新たな展開に貢献できるよう努力してまいります。

沖縄振興局長



名前 水野 敦（みずの あつし）
出身地 神奈川県
略歴 平成2年 大蔵省入省
 内閣府大臣官房審議官（沖縄政策及び沖縄科学技術大学院大学
 企画推進担当）を経て現職
趣味 読書、音楽鑑賞
抱負 引き続き、皆様と力を合わせて、沖縄の発展に貢献できるよう
 努めてまいります。

官房審議官



名前 望月 明雄（もちづき あきお）
出身地 茨城県
略歴 平成3年 自治省入省
 総務省大臣官房企画課長を経て現職
趣味 読書など
抱負 沖縄振興に携わるのは初めてですが、これまでの経験を活かし
 て、沖縄の発展に貢献できるよう努力してまいります。

沖縄総合事務局長



名前 田中 愛智朗（たなか あいちろう）
出身地 青森県
略歴 昭和62年 総務庁入庁
 内閣府大臣官房政府広報室長を経て現職
趣味 自転車で散策
抱負 3度目の沖縄勤務です。赴任のたびに沖縄の発展を感じます。
 さらにまた一歩進められたらと思っています。



現在の状況(令和3年9月25日撮影)

火災から2年

～首里城復元に向けた取組状況～

首里城火災から二年

令和元年10月31日の火災により首里城正殿等が焼失してから二年が経過しました。開発建設部では、関係機関と連携し、一日も早い首里城の復元に向け取り組んでいるところです。

また、各方面の分野の有識者や各関係省庁で構成する首里城復元に向けた技術検討委員会及びそのワーキンググループ会議(防災、木材・瓦類、彩色・彫刻、北殿・南殿等)を設置し、復元に向けた議論を行っております。北殿・南殿等ワーキンググループは今年度からの設置となっています。

首里城正殿については、令和4年中には本体工事着手、令和8年までの復元を目指し、事業に取り組んでいます。以下、火災から二年目の取組状況をご紹介します。

首里城復元に向けた技術検討委員会での検討状況について

高良倉古琉球大学名誉教授を委員長とする10名の有識者を委員、各関係省庁及び沖縄県の職員11名を協力委員とする「首里城復元に向けた技術検討委員会」は、これまでに委員会を8回、ワーキンググループ会議を18回開催し、復元に向けた技術的な検討を行っています。

○木材・瓦類関係

首里城正殿に使用する大径材について、象徴的な部材である向拝柱と小屋

丸太梁については、それぞれイヌマキとオキナワウラジロガシを、それ以外の箇所には原則として国産ヒノキを使用することが昨年度に決定されました。使用する大径材のうち、寄付者(来訪者)の目につきやすい「象徴部」である部材(向拝柱、小屋丸太梁含む)については、沖縄県が寄付金を活用し調達します。

沖縄総合事務局で調達する分の大径材については、今年度、調達の契約を行いました。

また、首里城正殿に使用する赤瓦について、仕様の方針が決まり、焼け残った破損瓦をシャモット(瓦を粉砕したもの)として配合し、再利用することになりました。

○防災関係

首里城正殿に設置される消防設備について、可能な限り歴史的な空間の雰囲気が損なわれないよう、機器のデザインや配置の検討を行っています。また、沖縄県と連携した防災・防火設備の具体の運用体制、防災センター機能の再編については、復元工事中を含めた検討を行っています。

○彩色・彫刻関係

石彫刻等の装飾物の往時の材質や形態、配置等について、古文書や古写真、発掘調査報告等の資料をもとに、詳細な検証を進めているところです。さらに、1887年にフランス海軍の軍人によって撮影された首里城正殿等の最古の写真が見つかりました。この写真も含め、今後も彩色・彫刻について仕様

等の検討を進めていきます。

○北殿・南殿等関係

「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、正殿以外の北殿・南殿等の復元について、令和8年以降の工事着手を見据え、今年度より、本格的な検討に着手しました。

沖縄県とも連携して、機能・用途の必要な見直しや、復元方針等の検討を行っています。

復元の様子を段階的に公開

○奉神門の応急復旧完了

首里城有料区域の入り口となる奉神門は、火災により屋根の一部が焼失していましたが、令和3年6月に応急復旧が完了しました。



奉神門 応急復旧前



奉神門 応急復旧後

○大龍柱の補修完了

火災により損傷を受けた大龍柱は、下之御庭に設置した仮設補修作業場へ移され、補修作業が行われておりました。補修作業は令和2年11月に完了しました。補修された大龍柱は、新たに制作する大龍柱の見本として活用する予定ですが、それまでは仮設補修作業

場で展示されます。



大龍柱の補修作業の様子



大龍柱(吽形)の展示の様子

○御庭の磚瓦撤去

首里城正殿前の御庭について、今後、御庭は工事ヤードとして整備していくため、敷かれている磚瓦を撤去しました。撤去された磚瓦のうち状態の良いものは保管され、復元される御庭で再利用されます。



磚瓦撤去作業の様子



磚瓦撤去後の御庭

○見学通路の切り替え

首里城正殿復元に使用する木材を保管する木材倉庫等の整備に先立ち、来園者用の仮設見学デッキを整備する工事に着手しました。スロープデッキとなっているので、バリアフリーの移

動が可能です。



見学通路等イメージ
※詳細は現在調整中。

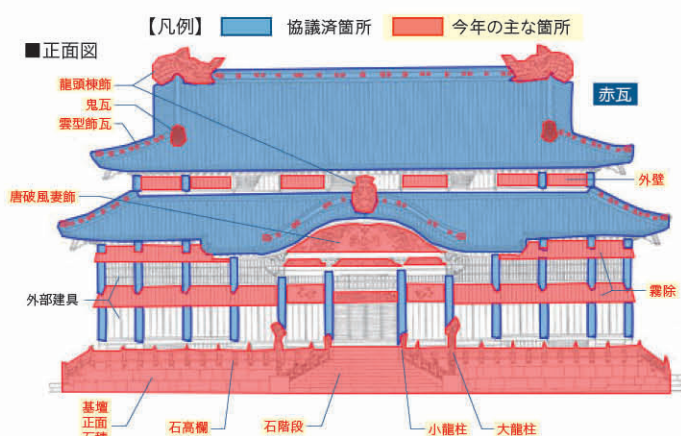
沖縄県首里城復興基金の活用について

沖縄県や那覇市などには、一日も早い首里城の復興を願う国外を含め県内外から多くの寄付金が寄せられています。沖縄県は、昨年の3月に沖縄県首里城復興基金を設置し、寄せられた寄付金を首里城火災からの復興を目的とする費用の財源に充てることとしています。

沖縄総合事務局と沖縄県は昨年、寄付金を正殿復元工事に用いる大径材や赤瓦の調達に充てるとした覚書を締結しました。今年度は、大径材の他に小径材及び造作材の追加、赤瓦の他に磚瓦及び雲形飾瓦を追加し、さらに新たに、大龍柱や唐破風妻飾、龍頭棟飾、御

沖縄県が調達する制作物等

差床などの制作物の調達に寄付金を充てるとした覚書を締結しました。





ワーケーションウィーク オキナワ特集

令和3年度
沖縄テレワーク推進事業

休暇だけの沖縄なんてもったいない。これからの、WorkとLifeを考える16日間。

2021.11.13(Sat)-11.28(Sun)

アフターコロナを見据え、ワーケーションの可能性を探る。

リモートワークの定着によって、「仕事に対する考え方の変化」が生まれ、その先に「生き方の変化」も見られるようになってきました。その表れとして、「ワーケーション」「地方移住」「デュアルライフ」「パラレルキャリア」といった、場所にとらわれない生き方が挙げられます。ポストコロナ時代において沖縄は、「休暇を過ごす場所」としてだけでなく、「自分らしく生きる場所」として選ばれるポテンシャルがあると考えます。WorkとLifeが重なり合うワーケーションを起点に、沖縄を可能性あふれる場所にしたい。そんな沖縄の可能性を多くの人に知っていただく機会として、今年11月13日(土)～28日(日)を「Workcation Week Okinawa」とし、ワーケーションに関連する様々な取組を行います。

プレイヤー同士がつながり、リソースを補完し合う。

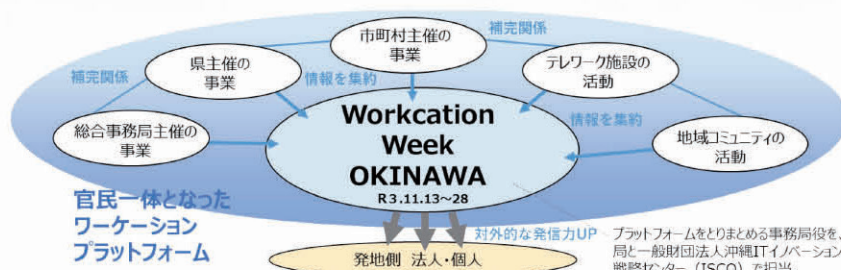
今、ワーケーションを手段に、関係人口の創出、企業誘致、離島の活性化、伝統文化の継承、人材の成長、新しい働き方など、多様なプレイヤーによって、様々な目的で、ワーケーションの取組が走り出しています。しかし一方で、ワーケーションは、まだ未知なるものです。手探りの今は、互いが連携を図ることで、対外的なプレゼンスを高め、足りないリソースを補完し合い、その結果、個々の事業の最大化を図るべきだと考えます。大切なことは、プレイヤー同士がつながり合って、ワーケーションの可能性を最大にすること。未知なるものに、答えを出していくこと。流行りで終わることなく、サステナブルな地域の発展につなげるために、競争ではなく、共創していきたいと考えます。

WWOの趣旨と目指す姿

「Workcation Week Okinawa」というプラットフォームを設け、ワーケーション関連事業、イベント、キャンペーンを集中開催し、お互いが連携できるようにします。沖縄全体で発信力のあるヤマをつくり、その結果、個別の事業効果の最大化を図ります。

< WWO 連携先 >

- ・沖縄県
情報産業振興課／企業立地推進課／
アジア経済戦略課／観光振興課／地域・離島課
沖縄県東京事務所／大阪事務所／
名古屋情報センター
- ・県内市町村
- ・県内テレワーク施設、まちづくり会社など



関連するイベント・プログラムの例

※下記は一部抜粋。
詳細・最新の情報はHPをご確認ください。

ウィーク期間中は、連携する団体・企業が、県内各地で新しい出会いや発見を提供します。

日付	イベント名
11/25-26	9th 沖縄大交易会 2021
11/18-19	ResorTech EXPO 2021 in Okinawa
11/20・22	WORKCATION WEEK OKINAWA サイクリング体験
11/17-20	【起業家向】IPO 経営者やエンジェルによる壁打ち&資金調達メンタリング
10/30-11/5・11/20-26	デポアイランド 親子ワーデューション
11/13-28	ヤッカヤッカコリピング @ 来間島 アーティストインレジデンスプログラム
11/18	沖縄型ジョブセッションセミナー
11/19	トヨブラドロップイン利用&マッチングプレ交流会
11/13・27	(仮) コザカクテルパーティー



WWO 参加テレワーク施設に、共通チェックイン用アプリを導入。

※導入施設はHPをご確認ください。

- WWO に来るお客様に、施設を体験・回遊していただきます。
- 県内企業にテレワーク施設を、体験利用していただきます。
- 実態把握が難しいワーケーションのマーケティングデータを取得し、参加施設と共有します。



①合計 4000 円分のお試しチケットをプレゼント。
②長期滞在者向けには、WWO 期間中、使い放題のサブスクチケット (9,800 円) を販売。

WWO をプロボノ※で支える人・企業

※プロボノとは、社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動を指します。

沖縄のワーケーション課題のひとつに、情報発信があります。「沖縄でワーケーション＝海を見ながら仕事」という、魅力の一部しか伝わっていません。沖縄でのワーケーションは、もっとたくさんの魅力に溢れており、沖縄を愛するアンパサダーの皆様に、情報発信の協力をお願いしています。

< WWO アンパサダー >

有木 真理 (株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役) / 石川 貴志 (一般社団法人 Work Design Lab 代表理事) / 上原 仁 (株式会社マイネット 代表取締役社長) / 大瀬良 亮 (株式会社 KabuK Style 社長) / 椎木 磨美 (株式会社環 執行役員 CHO) / 高木 紀和 (株式会社リゾートワークス 代表取締役) / 田中 邦裕 (さくらインターネット株式会社 代表取締役社長) / 常盤木 龍治 (株式会社 EBILAB 取締役ファウンダー CSO CTO) / 橋本 正徳 (株式会社ヌーラボ 代表取締役) / 松本 国一 (富士通株式会社 シニアエバンジェリスト) / 箕浦 龍一 (一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 理事) / 森戸 裕一 (一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協議会 代表理事) / 吉越 輝信 (SAP ジャパン株式会社 エヴァンジェリスト) / 池田 大志 (複住スタイル コンセプター) / 田宮 一夫 (一般社団法人日本テレワーク協会 専務理事) / 花牟礼 真一 (株式会社かねひで総合研究所 代表取締役理事) / 斉藤 晴久 (株式会社 AnyWhere 代表取締役) / 福島 健一郎 (アイパブリッシング株式会社 代表取締役) / 中川 悠介 (アソビシステム株式会社 代表取締役) / 押切 加奈子 (合同会社 awabar 沖縄 代表社員) / 森田 次郎 (合同会社 1DO3 代表社員) ※令和 3 年 10 月 20 日時点

ワーケーションウィークは、多くの企業・団体との連携によってカタチ作られています。特に、サポーターの方々には、持っている専門性を可能な範囲でプロボノ提供していただいています。

< WWO サポーター >

FUJITSU **NTT Communications** **JTB 沖縄** **RUB-LAB.** **みらいおきなわ**
ジョルダン **Jorte** **パーソナルテクノロジースタッフ** ※令和 3 年 10 月 20 日時点

最新情報は WWO サイトへ

<https://tele-okinawa.go.jp/wwo2021>



WWO ログ誕生秘話

“ワーケーションを通じて人と人がつながり、その輪が、沖縄が、大きくなっていく”という思いが込められたロゴマーク。実は、富士通の一般社員の方に、プロボノで作成していただきました。その方は、永尾 瑛里菜さん。日頃は、ライフサポート (福利厚生) を扱うチームで働いています。「デザイン部門と連携して仕事をする機会があり、自分の伝えたいことがデザイナーを通すことにより、新しい伝え方が生まれたこと、選択肢が増えていく過程が面白く、学んでみたいと思いました。直感的に行動することが年々難しくなっていて、“やらなかった後悔”が増えていたので、今やりたいことをやる機会があるなら挑戦してみようと思い参加しました。」との事。デザイナー未経験ということで、本ロゴはなんとパワーポイントを駆使して作成いただいています!



スポーツ産業の未来

人間拡張とスポーツの可能性

スポーツ・ヘルスケア産業を取り巻く課題や、それに挑戦する企業を紹介する「スポーツ産業の未来」。最終回となる今回は、スポーツにおける道具（義手・義足等）の発展が拓けるスポーツの可能性に着目します。

去る2021年7月～9月に開催された東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当初の予定から1年延期、そして無観客での開催となりましたが、それでもテレビ越しに観戦する多くの方々に感動をもたらしたことでしょう。

スポーツを支える道具、とりわけパラリンピックで使用されているような車いすや義足等は、一般的には身体的ハンデを補うものと理解されているかと思いますが、近年では最先端の科学技術を活用することによりハンデを補うだけでなく、むしろ人間の能力を向上させるような道具として開発されてきているのです。

例えば、パラリンピック陸上男子走り幅跳びでは世界記録を持つドイツのマルクス・レーム選手が出場し、自己記録の更新はならなかったものの、出場選手唯一の8m超えをマークする圧巻の跳躍で見事3連覇を達成しました。レーム選手が持つ8m62cmという世界記録は、パラリンピックに先だって行われた東京オリンピックの金メダル記録8m41cmを上回っており、レーム選手の努力の賜であることに間違

いありませんが、スポーツを支える道具の可能性を示すひとつの事例だと言えるかもしれません。

このように科学技術を用いて人間の能力を向上（拡張）する技術は“人間拡張”と呼ばれており、今までマンガやアニメ、SFの世界のように思えた技術が実用化されてきているのです。

身体拡張の世界

パラリンピックの車いすや義足等は、人間拡張技術のうち、人間の身体能力を向上させることを目的とした身体拡張に該当すると言えるでしょう。ただ、パラリンピックのテーマはあくまで人間拡張の技術を競い合う大会ではないことに留意する必要があります。

一方、身体拡張に着目した世界的な競技大会としてサイバスロンというものがあります。サイバスロンは、ロボット工学などの先端技術を応用した義足などを用いて障がい者が日常生活に必要な動作に挑む、国際競技大会を軸にしたスイス発の取組です。2016年に第1回大会がスイスのチューリヒで開催され、大きな注目を集めまし

た。この取組はまさに「技術と人の融合」がメインテーマで、身体拡張の技術力そのものを競い合う大会と言えるでしょう。

沖縄県における取組

パラリンピックやサイバスロンでは、それぞれの競技大会の方向性に違いはあるにせよ、スポーツにおける道具はめざましい科学的進化を遂げていることがわかります。

沖縄に目を向けると、金武町に株式会社佐喜眞義肢という40年以上義肢を作り続けている会社があります。佐喜眞義肢はCBブレースというシンプルかつ軽量で日本



CBブレース

の生活様式に適した膝関節装具を開発し特許を取得しており、肘・膝関節に医療的措置が必要な方にもちろんのこと、野球や大相撲など多くのプロアスリートのリハビリを支える道具としても実績を重ねてきました。また、日本スポーツ医学財団・上智大学工学部チームとの協同研究体制の下、スポーツ活動時におけるCBブレース着用の意義と可能性を、体感的な心地よさという側面だけでなく、学術的な側面からも調査・検証しています。今はまだリハビリで活用されることがメインのCBブレースですが、この研究が進めばまさに身体拡張



大関・琴奨菊とCBブレース

を実現させる製品となる可能性を秘めているのではないのでしょうか。

認知機能の向上 ICTとスポーツ

さて、人間拡張には身体能力だけでなく、認知機能を向上させる技術というものも存在しています。たとえば近年ではよく耳にするようになったARやVRという技術も認知機能を向上させるための人間拡張の一種だと言えるでしょう。

この技術をスポーツの世界で考えるとどのようなことができるのか。例えば株式会社NTTドコモは「LogiBodySharing®技術を活用した力ヤックロボットシステムによる体験型観光の実証試験」を実施しました。BodySharing®技術とは、離れた場所にあるロボットや他者と、遠隔地から身体の動きを共有することを目的として、視覚や聴覚だけでなく、重さや抵抗などの固有感覚を含む身体感覚を伝達する技術です。VRヘッドマウントディスプレイに伝送される力ヤックロボット視点の高精細映像に加え、オールを漕いだ際の水の抵抗や重さの感覚、力ヤックの傾きをリア

ルタイムに体感することができ、まるで現地で実際に力ヤックを操縦しているかのような没入感や臨場感のある体験が可能となります。



Bodysharing®技術実証事業

この技術を用いることで、沖縄県のマングローブ力ヤックツアーをはじめとするさまざまな体験を遠隔でも提供でき、新たな観光産業の創出や観光資源のPRへ活用が期待

できます。

科学技術の進化に伴いスポーツのあり方・楽しみ方は今後さらに大きく変わっていくのかもしれませんが、オリンピックのように自らの身体能力を極限まで高め競い合うスポーツだけでなく、科学技術を活用した身体拡張の世界におけるスポーツ、まさに新しいスポーツの楽しみ方として今後の発展に期待したいと思います。パラリンピックやサイバスロンに登場するようなトップアスリートが活用するものだけでなく、5Gを活用することで誰でも気軽にスポーツを楽しめる技術や生涯スポーツを支える技術など、活用シーンがひろがっていくことにも注目してまいります。

これまでの連載に長らくおつきあいいただき、ありがとうございます。引き続き、「スポーツ産業の未来」に期待いただきますよう、お願いいたします。

【お問合せ先】

経済産業部 企画振興課

☎098-866-1727

Web会議システムを活用した オンライン方式の お仕事も承ります!!

公正取引委員会
マスコットキャラクター「どっきん」



沖縄総合事務局総務部公正取引室(以下「沖縄公正取引室」といいます。)では、独占禁止法等に対する理解を促進するため、県内において、様々な広報活動を行っています。

また、ここ最近では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システムを活用したオンライン方式の講習会等を開催しており、今後も積極的にオンライン方式による広報活動を取り入れていく予定です。

今号では、昨年度から導入したオンライン方式による広報活動についてご紹介します。

①下請法基礎講習会

沖縄公正取引室では、下請法的な運用を行うとともに、講習会を実施するなど、違反行為の未然防止の観点から、普及・啓発活動を実施しています。

令和3年7月30日には、親(おや)事業者を対象とした下請法基礎講習会をオンライン方式で実施しました。

本講習会では、講師を務めた当室の職員から、下請法の概要や令和2年度における下請法の運用状況について説明を行いました。



②独占禁止法教室

沖縄公正取引室では、独占禁止法の役割や意義を理解してもらうため、大学等の講義に実務経験を積んだ職員を講師として派遣し、独占禁止法教室を開催しています。

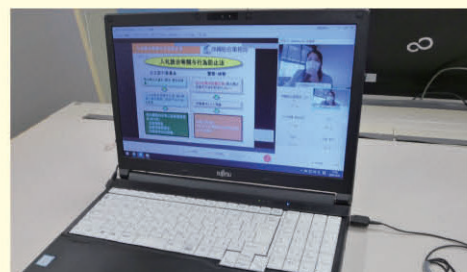
令和3年1月19日及び26日に琉球大学にて、オンライン方式による独占禁止法教室を開催しました。



③入札談合等関与行為防止法等の研修会

沖縄公正取引室では、入札談合の未然防止を徹底するため、例年、沖縄県や在沖国家機関等の職員向けに、入札談合等関与行為防止法等の研修会を開催しています。

令和2年12月2日には、県内市町村等の職員向けの研修会をオンライン方式で開催し、当室の職員から入札談合が疑われる状況などについて説明を行いました。



沖縄公正取引室では、今後もより多くの方に安心して参加いただけるように、対面方式に加えて、オンライン方式の活用など工夫しながら、皆様のニーズに合わせた研修会を実施して参ります。お気軽にご連絡ください。

お問合せ先 総務部 公正取引室 ☎098-866-0049



我が国の財政の 現状や政府の取組を WEBで情報発信



沖縄総合事務局財務部では、我が国の財政の現状や政府の取組を広く国民にお伝えし、理解をより深めていただくことを目的として、例年、財務省主計局の幹部を講師として招き、財政講演会を開催しています。

今年はコロナ禍の影響により、初めてWEBで開催しました。

財政講演会

8月23日に金融機関、経済団体、地方公共団体、一般企業など多数の方々にお集まりいただき、福田主計官から「我が国の財政について」の講演が行われました。

参加者は講演に熱心に聞き入っており、質疑応答では「現状は社会保障負担が大きく、プライマリーバランスの黒字化の達成は厳しいのではないか」、「日本の財政赤字は少子高齢化を背景とする構造的要因が諸外国に比べて大きいのではないか」などのご質問があり、講師から、丁寧でわかりやすい説明がありました。

講演会後のアンケートでは、「有意義であった」、「次回の講演会にも参加したい」と多くの評価をいただいたほか、「コロナ禍による日本経済への影響と地方財政に与える影響についての講演も聴いてみたい」などのご意見が寄せられました。

地元経済界ほかとの意見交換会

政策金融機関、経済団体、地方公共団体の参加を得て福田主計官との意見交換会を開催しました。意見交換会では、コロナ後の地元経済の展望について、出席者から沖縄県内の現状についてご説明いただいたほか、「早期に社会経済活動を回復させるには、若年層への早期ワクチン接種と検査体制の拡充が急務である」との地元の課題につ



福田主計官による講演

いても意見交換がなされ、地元の声を伺う貴重な機会となりました。

当部では、多くの皆様により一層ご理解を深めていただけるよう、今後も我が国の財政状況や財政健全化に向けた政府の取組などを情報発信してまいります。



オンラインの利点を活かし、離島圏からも初参加！

お問合せ先
財務部 理財課

☎ 098-866-0092

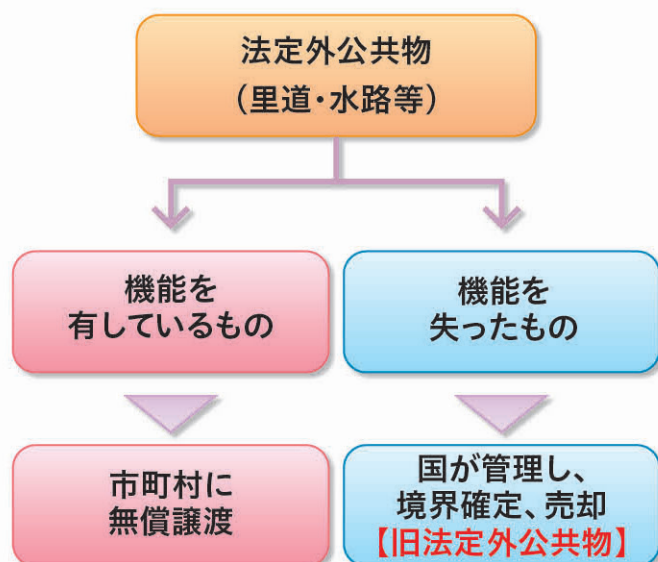


身近な国有財産

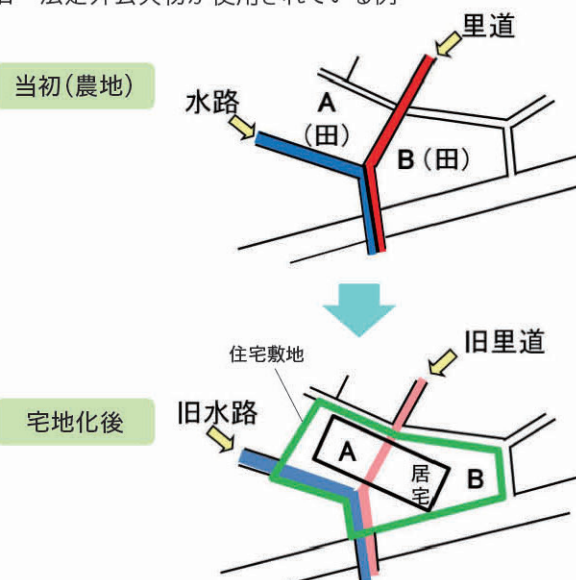
～旧法定外公共物(旧里道・旧水路)～

旧法定外公共物とは、かつて里道や水路等であったものが、機能を失い、公共的な用途に使われていないものをいい、国(沖縄県では沖縄総合事務局財務部)が管理することになっています。旧里道や旧水路が、現に住宅敷地等として使用されている場合には使用者に対して売却を行っています。

※現在でも里道・水路としての機能を有しているもので、市区町村が必要なものについては、国から譲与のうえ市区町村が所有する土地となっています。



旧 法定外公共物が使用されている例



「法定外公共物」とは？

道路法、河川法等の適用または準用を受けていない公共物のことです。「里道・水路」はその代表的なものとなっています。



里道



水路

旧法定外公共物の境界確定または購入手続きを検討されている方は、財務部ホームページ

http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_kokuyuu/kokuyuuzaisan/kounyuu/01-08

をご覧ください。下記までお気軽にお問合わせ下さい。



沖縄本島及び
離島地域(宮古・八重山地域を除く)

財務部統括国有財産管理官
☎098-866-0097

宮古地域

宮古財務出張所
☎0980-72-4774

八重山地域

八重山財務出張所
☎0980-82-4941



「美ら島沖縄」応援の取組

～財務局のネットワークを活用した
「かりゆし財務局の日」～

財務部の若手・中堅職員を中心としたプロジェクトチームである「美らざいコネクト」(美らコネ)は、新型コロナウイルスによる美ら島沖縄への深刻な影響を踏まえ、全国で「かりゆし財務局の日」を設定するなどの地域貢献に取り組みました。

「かりゆし財務局の日」(8・9月)

財務省の総合出先機関として、北海道から沖縄まで11の財務局(福岡は財務支局、沖縄は沖縄総合事務局財務部)が設置されており、全国に財務局のネットワークが展開されています。

美らコネでは、このネットワークに着目し、「かりゆしウエア」の普及促進や沖縄のPRのため、8月と9月の毎週水曜日を財務局毎の「かりゆし財務局の日」と定め、当部に出向経験のある全国の財務局職員を中心に、かりゆしウエアの着用や沖縄への応援メッセージ(メール)の送信を働きかけました。

その結果、全国で30名近くの財務局職員の協力が得られ、かりゆしウエアを着用いただくことにより、全国の財務局職員のみならず、出勤退勤時に行き交う人々に対しても、かりゆしウエアをPRできました。

職員の中には、「本取組のために初めてかりゆしウエアを購入した」、「久しぶりでサイズが合わずに着れなかった」などの声もきかれました。また、100人を超える多くの方から「沖縄ちばりよー」等の応援メッセージをいただきました。

今回の取組の成果について、かりゆしウエア普及促進の沖縄県担当課に情報提供したところ、財務局職員へのお礼とともに、来年以降の連携についても協力依頼がありました。



【九州】



【四国】



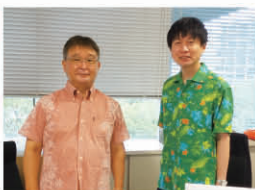
【近畿】



【関東】



【北海道】



【福岡】



【中国】



【東海】



【東北】

沖縄県知事とよしもと芸人との対談(8月20日)

県内の新型コロナウイルスの危機的な感染状況を踏まえ、新型コロナウイルス対策の重要性について、著名人からの呼びかけを企画した沖縄県より、美らコネに対して、よしもと芸人で新型コロナウイルスの罹患者であるゴリ氏(ガレッジセール)への「つなぎ」の提案がありました。

美らコネでは、今回の企画が沖縄県のみならず政府全体の重要施策であり、地域貢献に資する取組であることから、沖縄県とゴリ氏とのつなぎ役を早急に実施するなどして、玉城デニー知事とゴリ氏の対談の実現に協力しました。なお、対談の様子は、沖縄県公式YouTubeでご覧いただけます。

沖縄県公式
YouTube



リモート形式による対談の様子

お問合せ先
財務部 財務課(地域連携担当)

☎ 098-866-0091

沖縄版・企業支援による コロナへの挑戦(セミナー第3回)

～連携強化による事業再生支援～



沖縄総合事務局は、コロナ禍の中、経営課題に直面する事業者に対して、金融機関、信用保証協会、中小企業再生支援協議会など、支援機関が連携を強化して、経営改善・事業再生・事業転換支援等を行うためのノウハウを醸成するセミナーを開催し、沖縄県経済の力強い回復に繋がるよう後押ししています。

ワクチン接種の進捗等により、経済活動は徐々に活性化していくことが期待されるものの、沖縄の企業支援の現場においては、経営改善・事業再生支援をしていくことが重要となっています。このため、令和3年10月8日(金)に、沖縄総合事務局、中小企業基盤整備機構沖縄事務所が共同主催者となり、沖縄の企業支援機関職員向けの、連携強化による事業再生セミナーを開催しました。

第一部は基調講演として、中小企業庁 事業環境部 金融課長 神崎 忠彦氏より、「コロナ禍における中小企業支援政策」をテーマとして、金融庁 監督局銀行第二課 地域金融企画室長 今泉 宣親氏より、「金融庁におけるコロナからの地域経済再生に向けた取り組み」をテーマとして、オンライン・YouTubeにてlive配信が行われました。

第二部ではweb会議システムで参加者を繋ぎ、分科会1では、京都信用保証協会 企業支援部 再生支援課長 重松 哲也氏より「京都再生ネットワーク会議における事業再生支援の在り方」をテーマとし、分科会2では、株式会社地域経済活性化支援機構 地域活性化支援本部 マネージングディレクター 羽田 雅史氏より「コロナ禍における医療介護事業者への経営支援について」をテーマとして講義が行われたほか、その後の全体会では「連携強化による事業再生支援」をテーマとし

て、金融庁 監督局銀行第二課 地域金融企画室 室長補佐 渡辺 茂紀氏及び当局金融調整担当職員の方アシリテーターの下、県内外の経営改善、再生事例をベースに、事業再生支援を進展させるための活発な意見交換が行われました。

沖縄総合事務局では、今後も、こうした企業支援機関向けのセミナーを継続して実施し、持続的な地域経済エコシステムの形成、コロナ後の経済の力強い回復を後押ししていきたいと考えています。

内閣府 Cabinet Office 沖縄版・企業支援によるコロナへの挑戦(セミナー)-連携強化による事業再生支援-

金融支援

- セーフティネット 急速に進めた ゼロゼロ融資
- 京都の再生モデル
- 最大4億円 再生支援 融資制度
- 最大20年 モニタリング体制 償還の回避
- オール京都で企業を支える
- 金融 行政 協会の連携
- 中小企業再生支援資金
- 20年以内 最大4億円

コロナの影響

- 国内経済活動の抑制
- 輸出は緩和
- 貸出は緩和
- 借入先が厳しい状況
- ビジネスモデルの再構築
- 経営資源

全体意見交換

2年後に増える代位返済にみんなで力を合わせよう

内閣府 Cabinet Office 沖縄版・企業支援によるコロナへの挑戦(セミナー)-連携強化による事業再生支援-

応援

- 高品質な食肉加工
- コロナ前より毎月100万円増
- 内部環境の改善
- ブランド商品の価値
- 付帯支援
- 取引先紹介
- 商談会
- ECサイトの掲載

サバ行との連携

- 金融機関が複数
- 調整に時間を要
- 足並揃えが大事
- 中小企業の特長を生かす
- 企業の対応基準の緩和

コロナで苦戦中

- コロナ経営悪化
- 改善計画の立案
- 柔軟な対応
- 考える時間を確保

コロナで苦戦中

- 新規事業として展開
- 在りて展開
- リスケルが追加

情報共有

- 本部同士で
- 早期発見でみんなで見守る
- 情報共有の仕組みづくり

全体意見交換

2年後に増える代位返済にみんなで力を合わせよう

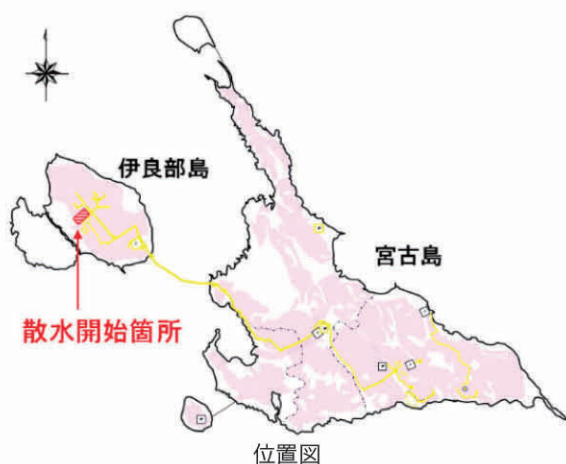
※当日資料及び画像
沖縄総合事務局HPより視聴・ダウンロード可能。
http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_renkei

お問合せ先
財務部 金融監督課
098-866-0095
経済産業部 中小企業課
098-866-1755



伊良部島でスプリンクラーによる散水を開始

～地下ダムによる農業用水の安定供給が実現～



位置図

令和3年8月2日、国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」の受益地の一部である伊良部島で散水式が開催され、受益者をはじめ、宮古土地改良区、沖縄県、沖縄総合事務局等の関係者約40名が出席しました。散水式では、主催者挨拶、来賓者祝辞に続き開栓セレモニーが行われ、その後散水が開始されました。

伊良部島では、大部分の農地は降雨に依存しており、島全体の必要水量を供給する水源が不足しているため、気象に大きく左右される農業経営を余儀なくされてきました。

このため、伊良部島における農業用水の安定的な供給を図ること等を目的として、平成21年度から国営かんがい排水事業「宮古伊良部地区」を実施しています。本事業では、事業効果の早期発現を図るため、仲原地下ダムの整備をはじめ、伊良部大橋橋梁内にパイプラインを整備しました。併せて関連事業により畑地かんがい施設等の整備が進められ、令和3年7月までに県営「魚口地区」の一部農地においてスプリンクラーが整備されました。

今後、伊良部において畑地かんがい施設が順次整備されることによって、農業経営の安定化と施設園芸などの高付加価値農業の展開が期待されます。



開栓セレモニー

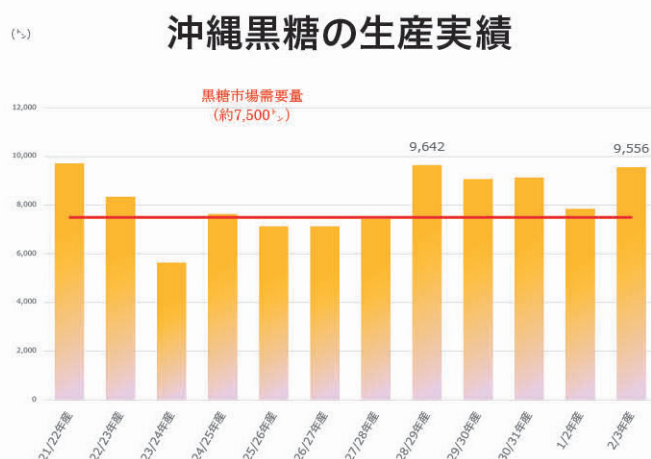


散水の様子

お問合せ先
宮古伊良部農業水利事業所
☎ 0980-7513290

沖縄県産黒糖・料理専門家評価会

～沖縄の8島黒糖を使った料理とは～



資料: さとうぎ及び甘しや糖生産実績(沖縄県)

沖縄黒糖の生産量は、ここ数年、増加傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症などの影響も受け、需要が伸びず、在庫量が増加しています。

そのため、需要・販路拡大を目的として、「沖縄県産黒糖・料理専門家評価会」が開催されました。本評価会では、パティシエ、イタリアン、フレンチ、日本料理、和菓子の分野で活躍する料理専門家を招聘し、県内離島の8島で作られた黒糖を使ってオリジナル料理を創作していただき、黒糖の魅力や新しい使い方を発表していただきました。

評価会当日の様子は沖縄県黒砂糖協同組合のウェブサイトで公開しています。



サヴァラン
パティシエ 中達敬治氏



沖縄アグーの黒砂糖赤ワイン角煮
イタリアンシェフ 奥田政行氏



黒糖を使ったスモークサーモン
フレンチシェフ 秋春朋氏



あんみつ
和菓子職人 角村茂氏



黒糖レーズンバター 日本料理シェフ 堀知佐子氏



沖縄県黒砂糖協同組合で
ライブ配信
(https://www.youtube.com/watch?v=_3xPodOc9wM)

沖縄黒糖を使って美味しい料理やお菓子を作りたい! そんな時はぜひ配信動画をご覧ください。

また、料理レシピについても同ウェブサイトにて掲載される予定ですので、お楽しみに!

※「沖縄県産黒糖・料理専門家評価会」は、沖縄県産黒糖の需要拡大及び安定供給体制の確立を目的に実施している「令和3年度沖縄県産黒糖需要拡大・安定供給体制確立実証事業」の取組として、(公財)流通経済研究所の主催により開催されました。

お問合せ先
農林水産部 生産振興課

☎ 098-866-1653

「第3回移動等円滑化 評価会議沖縄分科会」を 開催しました



高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）に基づき、国土交通省に設置された移動等円滑化評価会議の下に、沖縄地域における移動等円滑化の進展状況を把握し評価するため、沖縄分科会を設置しています。

この度、第3回移動等円滑化評価会議沖縄分科会をオンライン開催しました。概要としては、沖縄における移動等円滑化の進捗状況や沖縄総合事務局の取組、国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰の報告や、委員から所属組織の取組についての報告が行われました。

参加された委員からは、「何が合理的配慮※1なのかということをしつかりと皆さんに認識していただけたとありがたい。」「当事者自身も意見提言力を高め、相互効果を高めていくのは大事な役割だと思う。当事者参画の仕組みをいろいろな意味で戦略化する必要があると改めて感じた。」などのご意見をいただきました。

今後も、この沖縄分科会の枠組みを活用しながら、バリアフリーの推進等についての課題を共有し、沖縄におけるより一層高い水準のバリアフリー化を進めてまいりたいと考えています。

（※1）「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律」において、行政機関や事業者に対して、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者においては、対応に努めること）が求められており、これを「合理的配慮」という。

第3回移動等円滑化評価会議沖縄分科会の概要

日時 令和3年9月2日(木) 10:00～12:00 場所 オンライン

- 議事：①沖縄における移動等円滑化の進捗状況について
②沖縄総合事務局の取組について
③国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰の報告について
④委員からの報告について



①沖縄における移動等円滑化の進捗状況について

旅客施設や車両、道路等におけるバリアフリー化の整備状況を報告するとともに、バリアフリー法に基づく基本方針に定められた整備目標の達成に向け、引き続き移動等円滑化を推進していくことを確認しました。

②沖縄総合事務局の取組について

国土交通省、地方運輸局（沖縄総合事務局）が一体となって、地方公共団体に対してバリアフリー法に基づくマスタープランや基本構想の策定を促進すること、心のバリアフリーを推進していくこと、及び当局において今年度予定しているバリアフリー教室や自治体へのプロモート活動等について報告しました。

③国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰の報告について

第14回 国土交通省バリアフリー化推進功労者表彰を受賞した株式会社パームロイヤルの高倉直久支配人をお招きし、ジェンダーフリートイレの設置や夜間営業中における障がい者・外国人を中心とした夜間消防訓練「逃げるバリアフリー」の実施など、全国に先駆けて実施してきたこれまでの取組についてご報告いただきました。

④委員からの報告について

那覇空港ビルディング株式会社や一般社団法人沖縄県バス協会におけるバリアフリー化の取組状況、沖縄県において検討されているパーキングパーミット制度（※2）についてご報告いただきました。

（※2）公共施設や商業施設等に設置されている障がい者等用駐車区画の利用対象者を、障がい者、介護が必要な高齢者、妊娠婦、けが人など、歩行が困難と認められる方や移動の際に配慮が必要な方に限定し、対象者には利用証を交付することで適正利用を図る制度。



国土交通省バリアフリー化
推進功労者表彰の報告をする高倉氏



那覇空港におけるユニバーサルデザイン
診断の結果を報告する国頭氏

資料や委員一覧については、
以下 URL をご参照ください。

<http://www.ogb.go.jp/yny/9280/009289/idouenkatsuka-bunkakai/haihu-shiryoyou2108>

お問合せ先 運輸部 企画室 ☎098-866-1812

内閣府だより

「OKINAWA41」 フォトコンテストシーズン6 開催中！



フォトコンテストシーズン5
優秀作品
『影の立役者』
撮影者：中村若菜さん



フォトコンテストシーズン5
最優秀作品
『マジックアワー』
撮影者：上勢頭輝さん



フォトコンテストシーズン5
優秀作品
『沖縄の地下世界に広がる絶景』
撮影者：中川隆行さん

内閣府が運営する沖縄の知られざる魅力を柔らかく発信するサイト「OKINAWA41」において、「フォトコンテスト」を開催中です。シーズン6となる今回のテーマは、「思い出の沖縄」。
皆さんが過去に沖縄で撮影された思い出の写真を募集しています。全国どちらにお住まいの方でも応募可能です。
皆さんの思い出の写真のご応募お待ちしております。

受賞者は表彰式へのご招待も予定しています。詳細はHPでご確認ください。

「かりゆしウェア」 テキスタイルデザインコンテスト 2021 開催中！



前回の最優秀賞「島バナナパラダイス」(右)と
島バナナパラダイス柄のかりゆしを着る河野前大臣(左)



現在「OKINAWA41」では、「かりゆしウェア」テキスタイルデザインコンテストを開催中です。皆さんが考える「沖縄らしさ」を表したデザインをお待ちしています。

最優秀賞に選ばれた作品は、実際のかりゆしウェアを作成します。さらに、受賞者は表彰式へのご招待も予定しています。

詳細はHPでご確認ください。

●詳細はこちら
(URL、QRコード)

<https://www.okinawa41.go.jp/>



OKINAWA41



検索

家計のお悩み 相談してみませんか？



○一人で悩まず、**多重債務相談窓口**に是非ご相談ください。

○相談窓口では、収入・支出と借入れ・ローンのバランスから債務の整理、生活再建のための**セーフティネット**制度などの活用についてサポートしています。

○**中小事業者・個人事業者**の方からのご相談も受け付けています。

○ギャンブル等ののめり込みによる借金の場合、**安易な肩代わり**はやめましょう。

ギャンブル問題に詳しい医療・相談機関(全国の保健所・精神保健福祉センター等)に相談の上、**借金返済の相談**を進めましょう。



多重債務者相談強化キャンペーン2021

9月1日～12月31日

多重債務相談窓口に関するお問い合わせは、お住まいの都道府県・市区町村や最寄りの財務局まで。また、法テラスでは、お近くの相談窓口・相談会をご案内します。

■法テラスサポートダイヤル

お な や み な し
0570-078374

<受付時間>

平日/9:00-21:00 土曜/9:00-17:00

▼多重債務相談窓口へ



※法テラスとは国が設立した公的な法人です。全国の法テラス事務所では、収入や資産が一定額以下であるなどの条件を満たした個人の方を対象に無料法律相談を実施しています。

主催/多重債務者対策本部、日本弁護士連合会、日本司法書士会連合会、日本司法支援センター(法テラス)



財務部の『**多重債務相談窓口**』では、**専門の相談員**が、多額の借金を抱えて返済でお困りの方などからの相談を受け付けています。借金の返済にお悩みの方、一人で悩まず、まずはご相談ください。(無料)

沖縄総合事務局 財務部 多重債務相談窓口

(直通)098-866-5070【月曜日～金曜日 9時～17時(12時～13時を除く)】



令和
3年度

国有財産一般競争入札 (期間入札)のお知らせ

- 公示日 令和3年11月5日(金)
- 受付期間 令和3年12月6日(月) 午前9時～12月17日(金)午後5時まで
- 開札日 令和4年1月12日(水) 午前10時から

- ① 個人・法人どなたでも参加できます。
- ② 一般競争入札は郵送(必着)又は持参による受付となります。
- ③ 一般競争入札に参加するには入札金額(最低売却価格ではない)の5%以上の入札保証金が必要です。

最低売却価格以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売りします。

物件番号	所在地	登記地目 (現況地目)	実測数量	用途地域 建ぺい率/容積率	最低売却価格
0301	豊見城市字平良大城原 240番198	宅地 (宅地)	1,280.42㎡	第一種低層住居 専用地域 50%/100%	公表予定
0302	浦添市前田一丁目1508番1	原野 (宅地)	99.48㎡	第二種住居地域 60%/200%	公表予定
0303	南城市知念字安座真安座真原 2番3外3筆	畑・雑種地 (宅地・雑種地)	766.47㎡	都市計画用途 地域指定無し 70%/200%	公表予定

公示日以降、入札案内書を配付、ホームページに掲載します。
現地説明は実施しませんので、事前にご自身で必ず現地を確認し、
入札に参加するようお願いします。

※上記の公示日、受付期間、開札日及び入札物件等は、変更・中止となる場合があります。

入札に関する詳細は右記
までお問い合わせ下さい。

沖縄総合事務局 財務部 統括国有財産管理官
電話 098-866-0097(担当: 與那嶺・後浜・東野・福仲)
那覇市おもろまち2丁目1番1号
那覇第2地方合同庁舎2号館10階



ホームページアドレス(国有財産)
http://www.ogb.go.jp/zaimu/zaimu_kokuyuu/kokuyuuzaizan/kounyuu



メールマガジンへの登録
<http://www.kokuyuzaisan.mof.go.jp/info/>

沖縄総合事務局 国有財産購入 検索

国有財産 メルマガ

検索

農業者年金

農業者の方は国民年金の上乗せの公的な年金
「農業者年金」に加入して安心して豊かな老後を！

ポイント

1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

- ①年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者（保険料免除者を除く。）である20歳以上60歳未満の方が加入できます。

高齢農家世帯の家計費は、月額約24万円というデータがあります。

国民年金の支給額は、最大で一人あたり月約6万5千円。これを夫婦でもらっても毎月10万円の赤字ですので、国民年金の上乗せ年金として農業者年金に加入しましょう。

- ②農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢化時代に強い。

農業者年金は、経営状況や老後の生活設計に応じて、保険料を加入後いつでも月2万円～6万7千円の範囲で、千円単位で変更でき、年払いもできます。また、途中で脱退・再加入もできます。なお、脱退した場合、払った保険料は年金を受給するまで運用し続け、加入期間に関わらず、年金として受給できます。（脱退一時金はありません。）

試算表 農業者年金に加入すれば～ 農業者年金の受給額の試算

加入年齢	納付期間	保険料 納付総額	年金額（年額）		想定される受給総額	
			男性	女性	男性	女性
20歳	40年	960万円	76万円	64万円	1,624万円	1,717万円
30歳	30年	720万円	50万円	42万円	1,078万円	1,139万円
40歳	20年	480万円	30万円	25万円	638万円	675万円
50歳	10年	240万円	13万円	11万円	284万円	301万円

※上のケースは、通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.25%となった場合の試算です。

受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均余命を考慮し、男性86.5歳、女性92歳まで生存した場合の金額です。

※運用利回りは、加入後の経済変動により上下します。制度発足以降の18年間（令和元年度まで）の運用利回りの平均は、年率2.55%です。

※予定利率は毎年度、農林水産省告示により定められ、令和3年度は0.25%となっています。 ※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

死亡一時金もあり安心

80歳前に死亡した場合には、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を一時金として遺族が受け取れます。
※加入期間等により保険料の払込額を下回る場合があります。

ポイント

2

一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告の方や、その方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助（月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円）があります。

この国庫補助は、経営継承など一定の要件を満たせば、将来特例付加年金として受給できます。また、経営継承の時期についての年齢制限はなく、事情に応じて受給の時期を決められます。

ポイント

3

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります

- 支払った保険料は、家族の分も含めて全額が社会保険料控除の対象となり、
- 所得税・個人住民税・復興特別所得税が節税になります。（支払った保険料の15%～30%程度が節税）。
- 保険料の運用益が非課税 ●将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用されます。 ●死亡一時金は非課税です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問合せください。

独立行政法人 農業者年金基金

●専門相談員 ☎03-3502-3199

JAおきなわ

●本店組織活性部 ☎098-831-5157

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



年齢確認実施中

年齢確認へのご協力をお願いします。



未成年者にたばこを販売した者は、法律により、**50万円以下の罰金刑や、営業許可取消しなど**行政処分の対象となります。

（未成年者喫煙禁止法、たばこ事業法）

**成人であることが確認できない場合には、
たばこを販売することができません。**



財務省・警察庁

マイナンバーカード（個人番号カード）は、本人確認書類として利用することができます。

※通知カードは本人確認書類として利用することができません。



沖縄総合事務局情報発信サイト

沖縄総合事務局

<http://www.ogb.go.jp/>



ホームページ



Twitter



Facebook



広報誌